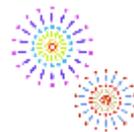


# 8月 ピッコロだより



[8月の活動] 時間を意識する／買い物／思い出を発表する

月	火	水	木	金	土
2 時間をみて 行動しよう	3 時間をみて 行動しよう	4 時間をみて 行動しよう	5 時間をみて 行動しよう	6 時間をみて 行動しよう	7 時間をみて 行動しよう
9 休み (山の日振替休日)	10 時間をみて 行動しよう	11 時間をみて 行動しよう	12 時間をみて 行動しよう	13 休み	14 休み
16 時間をみて 行動しよう	17 買い物をしよう	18 買い物をしよう	19 買い物をしよう	20 買い物をしよう	21 買い物をしよう
23 買い物をしよう	24 夏休みの思い出を 発表しよう	25 夏休みの思い出を 発表しよう	26 夏休みの思い出を 発表しよう	27 夏休みの思い出を 発表しよう	28 夏休みの思い出を 発表しよう
					[中学生] 夏休みの思い出を 振り返ろう
30 夏休みの思い出を 発表しよう	31 夏休みの思い出を 発表しよう	※8月13日(金)～15日(日)は、夏期休暇とさせていただきます。 申し訳ありませんがよろしくお願い致します。 [オンライン支援実施日]・5日(木)、12日(木)、19日(木)、26日(木)、28日(土)			

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本): 2日(月)、12日(木)、20日(金)、24日(火)

言語聴覚士(永山): 4日(水)、5日(木)、10日(火)、16日(月)、23日(月)、26日(木)、27日(金)、30日(月)

理学療法士(樋口): 3日(火)、7日(土)、19日(木)、25日(水)

(今月の主な活動) 時間を意識する／買い物／思い出を発表する

ねらい: 時間配分を考える／買い物を体験する／自分のことを発表する

- ☆適切な時間配分で行動できるよう、さまざまな課題を時間内に終わらせる方法を考えます。〈時間をみて行動しよう〉
- ☆友だちと購入するおやつを話し合い、近くのお店へ買い物に行きます。〈買い物をしよう〉
- ☆夏休みの思い出を友だちと発表し合います。夏休みを振り返り、思い出をお友達に説明しながら、楽しかった思い出を共有します。〈夏休みの思い出を発表しよう〉

[7月の振り返り]

<よく見よう>

・机にカードを並べて覚えるゲームや間違い探しなど、ただ目で見ただけではなく、注目する場所や見る時の姿勢を確認しながら活動を行いました。

<みんなで決めよう>

・ルール遊びの内容を子どもたちで話し合っ決めてました。話し合いでは、相手の意見を聞くことや、時間配分を考えること、必ず自分の意見を1回は発表することをポイントとしました。また、意見が分かれたときは多数決やじゃんけん、あみだくじ等、さまざまな方法で決めました。

## ★お知らせとお願い★

- ・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。
- ・個別でのご相談を希望される方は、職員へ事前にお伝えしていただけたら、日程を調整して対応させていただきますので、お知らせください。
- ・登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日(午前)10 時 20 分まで、(午後)13 時 50 分までにお願いします。
- ・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時の間、土曜日(午前)11 時 50 分～12 時 10 分の間、(午後)15 時 20 分～15 時 40 分の間でお願い致します。また、お迎えの際は引き継ぎ 20 分前に番号札を準備しますので、来所された順に取ってお待ちいただき、引き継ぎ開始時間になりましたらインターホンにてお知らせください。

### 【キャンセル待ちについて】

・キャンセル待ちの受け入れの連絡は、平日は当日の午前中まで、土曜日は前日までにトリアより連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。

### 【欠席連絡について】

・平日は 16 時以降、土曜日(午前)当日 9 時 30 分以降、(午後)13 時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥60/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。  
※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。



## 夏のせいにして

今年も夏がやってきました。“with コロナ”の夏も2巡目となりましたが、不便や不都合をなんとかやりくりし、困惑や徒労感をうまくしのぎながら日々の生活を送っている、お子さんたちも保護者のみなさんも、ぜひご自身を褒めてなでて愛でてくださいね。ちなみに、頬でも腕でもおなかでも、自分の一番安心する身体の部位を包み込むように触れたり優しくさすったりすることにより、気持ちほっこり作用のある「幸せホルモン(オキシトシン)」が分泌されるそうですよ。

さて話は戻りまして…夏です！年々暑さは応えるものの、やっぱり気持ちは上向きなぜか意欲も湧く季節です(あくまでもわたしは、ですが)。感染対策をとりながら、海や山やお外を満喫するのも楽しそうですね。ただ“命に関わる暑さ”の日も少なくないのが近年の夏。新しい生活様式になって、コロナ前の時代よりもおうち時間の過ごし方アイデアを豊富に見聞きできるようになりましたし、ステイホームで「夏なので…〇〇してみました」体験はいかがでしょう？時間や手間は掛かるけど「こんなことまでおうちでできちゃうの?!」ってことに、家族で力を合わせて挑戦するのもおもしろそうです。お子さんにも何か役割や仕事(道具などの運搬とか、味見とか、動かないように材料を押さえる係とか、なんでも)を任せてみるのもいいですね。

でも、日常生活の一コマを、子どもと一緒にやってみる、ということでも十分に楽しい思い出になることでしょう。例えば、冷やし中華やそうめん・かき氷といった夏らしい食べ物をつくって食べる、蚊取り線香を焚きうちわで扇ぎながら夕涼みをする、お風呂上がりに浴衣や甚平を着る、などなど。「楽しい」「うれしい」「心がポカポカする」を親子や家族で共有できることなら、な～んでもいいと思います。

ちなみに、わたしは今年の夏、既に2つも「夏なので…〇〇してみました」よ。一つは「網戸の張り替え」、もう一つは「採れ立てきゅうりで漬物づくり」、です。「それって一年中できるんじゃ？」と言うご指摘、ありがとうございます。網戸は夏の季語ですし、きゅうりの旬は夏なので、れっきとした夏のイベントです、問題ありません！

そう、「夏なので…〇〇してみました」の〇〇は、こじつけでも何でもいいんです。大切なのは共同行為体験をきっかけに、親子・家族で心と心が触れ合い、通い合うことなので、そのあたたかな記憶は、子どもたちが長い人生の中でいつか心がささくれ立ったときのワセリンとなるはず。残念ながら、わたしの場合は単独行為によるイベントでしたが、ぜひみなさんはお子さんと一緒に夏を満喫してくださいね。



公認心理師 松本みどり

